副 産 物 情 勢

3月13日 更新　　ＪＡ全農ミートフーズ株式会社

項目		内容
内臓	1.国産牛	○ 1月の成牛と畜頭数は、85.2千頭(前年比101.7%)と前年を上回った。 内訳を見ると、和牛:39.3千頭(前年比109.1%)、交雑牛:20.0千頭(同99.8%)、乳牛去勢:10.2千頭(同97.4%)となった。 ○ 2月の成牛と畜頭数は、速報値(2月29日まで集計)で81.6千頭(前年比98.4%)と前年を下回る見込みとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(2月27日公表)によると、2月の出荷頭数は、乳用種が減少するものの、和牛、交雑種で増加が見込まれることから、 前年を上回ると予測し、3月は、全品種で減少が見込まれることから、前年同月を下回ると予測する。 (2月 84.9千頭(前年比101.9%)、3月 86.8千頭(同93.0%))。 ○ 需 給 動 向 ：赤物はインバウンド需要の恩恵を受けていること等により堅調に推移しており、春先に向けて原料確保の動きが活発になれば価格が一段高となる可能性がある。 白物は暖冬の影響や輸入原料との競合等により例年より荷動きが鈍い地域はあるが、余剰感がある状況ではない。
	2.国産豚	○ 1月の全国豚と畜頭数は、1,414千頭と前年を上回った(前年比102.2%)。 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道98.6%、東北101.7%、関東103.7%、北陸甲信越99.0%、東海101.6%、近畿110.9%、中四国100.6%、九州・沖縄102.5% ○ 2月の全国と畜頭数は、1,345千頭(速報値2月29日まで集計、前年比102.6%)と前年を上回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年と同様で、1日当たりの平均と畜頭数は70,789頭(前年実績:69,027頭/日、前年差1,762頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;2月21日付け)によると、3月;1,437千頭(前年比98%)、4月;1,409千頭(同106%)、5月;1,330千頭(同97%)、 6月:1,307千頭(同98%)、7月:1,297千頭(同104%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約101%と前年を上回る見込み。 ○ 需 給 動 向 ：CVS、外食チェーン、惣菜会社等の需要は根強いが、一時期と比べると荷動き・流通価格ともに落ち着き始めている。 現時点では供給量が安定しているが、春夏の頭数減少時に備えて原料を確保する動きもあり、底堅い展開が続くことが想定される。
	3.輸入牛	○ 1月の輸入通関実績は、全体で43.3千㌧と前年を上回った(前年比108.4%、前月比119.8%)。 内訳ではチルド:17.0千トン(前年比105.5%、前月比112.8%)、フローズン:26.3千㌧(前年比110.3%、前月比124.8%)となった。 輸入相手国別では、チルドは豪州が増加したが、それ以外は減少し、フローズンは豪州、ニュージーランド、米国、カナダが増加した。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドは、2月は前年の豪州産の輸入量が入船遅れの影響で少なかったことから、前年同月を上回ると見込んでいる。3月は輸入先全体の輸入量が少ないことから、下回ると見込んでいる。 フローズンは、生産量の増加から豪州産輸入量が増加するものの、輸入先全体の輸入量が少ないことから、2月、3月とも前年同月を下回ると見込んでいる。3か月平均でも、チルド、フローズンともに下回ると見込んでいる。 令和6年 2月　　合計:35.1千㌧(前年比92.4%)、チルド:14.6千㌧(同109.7%)、フローズン:20.5千㌧(同83.1%) 令和6年 3月　　合計:33.5千㌧(前年比91.1%)、チルド:14.8千㌧(同83.3%)、フローズン:18.7千㌧(同98.5%) ○ 輸入牛内臓実績(令和6年1月): 牛腸(冷凍)　;1,269.0㌧(前年比102.8%・前月比114.2%)　国別実績;米国898.0㌧、メキシコ163.8㌧、豪州113.5㌧、カナダ81.3㌧、スペイン11.2㌧、パナマ0.7㌧、ニカラグア0.5㌧ 牛レバー(冷凍);54.5㌧(前年比88.2%・前月比52.7%)　国別実績;米国35.9㌧、豪州16.5㌧、メキシコ2.1㌧
原皮	1.牛原皮	○ 輸出実績(令和6年1月): 42,638枚(前年比112.8%、前月比79.4%) 国別実績;タイ31,788枚(前年比132.8%)、韓国6,090枚(同53.3%)、ベトナム3,020枚(同165.0%)、フィリピン1,100枚(同なし)、カンボジア640枚(同なし) 輸出平均価格(令和6年1月): 2,517円/枚(前年差＋158円、前月差＋11円) ○ 輸入実績(令和6年1月): 牛大判皮30,462枚(前年比66.7%、前月比173.0%)、ウェットブルー14,180枚※(同177.6%、同59.9%)　※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和6年1月): 牛大判皮8,197円/枚(前年差＋399円、前月差△558円)、ウェットブルー9,364円/枚(同＋1,992円、同△3,160円) ○ 海 外 情 勢 ：中国の景気低迷等により製品革ユーザーは安価商材を求める傾向が強く、品質低級原皮は製造原価を下回る価格で流通している。 ○ 国 内 情 勢 ：皮革製品需要の減少やタンナーの人手不足等により国内産皮革の流通量が落ち込んでおり、品質低級原皮の荷動きが非常に悪い。
	2.豚原皮	○ 輸出実績(令和6年1月): 931,856枚(前年比101.6%、前月比78.1%) 国別実績;タイ686,076枚(前年比100.7%)、ベトナム123,080枚(同152.1%)、カンボジア115,500枚(同91.3%)、韓国7,200枚(同25.4%)、 輸出平均価格(令和6年1月): 338円/枚(前年差△16円、前月差△19円) ○ 需 給 動 向 ：靴需要の低迷、海外タンナーの製造経費増高、為替円安に加えて、中国の春節(長期休暇)による製造調整等を背景に依然として厳しい展開が続いている。 傷・穴あきがあるB級品は海外タンナーからの需要が乏しいため、と畜場は傷等がつかないよう品質管理を徹底する必要がある。
レンダリング	1．油脂等	○ 国産食用加工油脂向け価格(2月渡し): 牛脂145円/kg(前年差△30円、前月差±0円)、豚脂155円/kg(同△20円、同±0円) 牛脂は、一時ほどの大きな緩みは解消されたものの、カレールゥ仕向けが低迷、加工油脂メーカー在庫は各社でバラつきがあるといわれている。 豚脂は、タイト感が続いた影響で加工油脂メーカーが調整ラードへシフト、需給緩和していく中で在庫が重くなり始めている。 ○ マレーシア産パーム油相場(1月): 145円/kg(前年差△3円、前月差△1円) 1月生産量は140万トン(前月比90.4%)、輸出量は135万トン(同99.1%)、月末在庫は202万トン(同88.2%)となった。 大手ユーザー国の中国・インドの需要は弱含みだが、減産期や洪水被害による供給懸念、堅調な原油相場等を背景に今後も底堅い展開が予想される。 ○ 関東飼料用油脂(2月): 124円/kg(前年差△20円、前月差±0円) ○ 工業用油脂(2月): 95円/kg(前年差△20円、前月差±0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(2月): 123円～126円/kgあたり(前年差△20円、前月差±0円)

備考

1.東京市場内臓価格　　単位:円/枝肉kg

価格改定年月日	牛内臓	豚内臓
令和3年4月 1日	35	7
令和3年4月 26日	25	5
令和3年10月 18日	35	7
令和4年2月7日	25	5
令和4年4月4日	35	7
令和4年8月8日	45	9

※乳牛も同様45円/kg　　＊豚正貫物

2.大阪市場内臓価格　　単位:円/枝肉kg

価格改定年月日	牛内臓	豚内臓
令和3年3月 11日	35	4
令和3年4月19日	25	3
令和3年10月 15日	35	4
令和4年2月1日	25	4
令和4年3月28日	35	4
令和4年8月1日	45	5

3.東京市場原皮価格　＊交雑牛含む　　単位:円/枚

価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮
令和元年7月22日	700	10
令和2年3月16日	500	10
令和2年6月15日	100	10
令和2年7月20日	100	2
令和2年9月28日	10	2
令和3年5月24日	10	10
令和5年10月16日	10	2

4.大阪市場原皮価格　＊交雑牛含む　　単位:円/枚

価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮
令和元年8月15日	1,000	10
令和2年3月16日	800	10
令和2年6月22日	300	10
令和2年7月27日	300	2
令和2年9月28日	10	2
令和3年6月1日	10	10
令和5年10月23日	10	2

5. 食用加工油脂価格　　単位:円/kg

価格改定年月日	牛脂	豚脂
令和4年3月1日	155	150
令和4年4月1日	175	170
令和4年7月1日	195	190
令和5年1月1日	175	175
令和5年4月1日	165	175
令和5年7月1日	155	165
令和5年10月1日	145	155